

# 進路通信

5月20日

## 学部・学問情報

### ◆教員養成学…質の高い教育ができる人材の育成が目的

#### 【学問の内容】

教員養成系は、“教員養成コース”と“ゼロ免コース”に分けられます。

“**教員養成コース**”は、教員の養成（教員免許の取得）を目的とし、幼稚園、小学校、中学校、高校、特別支援学校の各教員養成課程に分かれて学びます。公立学校では近年、定年退職を迎える教員の増加や、少人数指導の導入により採用数は増加傾向にありますが、教員志望者は多く、今後も厳しい状況は続くと思われるため、より質の高い教員の養成に力が注がれています。“**ゼロ免コース**”は、免許取得は義務づけない課程です。ここでは**生涯教育**など、学校教育の枠を超えた研究が進められています。研究内容は、就学前の**乳幼児の早期教育**、社会人や高齢者といった学校教育以降の世代への教育方法など、興味に応じてさまざまなテーマが選択できます。

今学校は、**いじめ**や**不登校**などさまざまな問題を抱えています。教員になるためには、教科の知識や教え方の技術だけでなく、こうした現実の問題に対処していく心構えが大変重要です。児童生徒とともに成長していくこと、それを生きがいに思えること、優しさと厳しさを兼ね備えること、さらに何事にも体当たりしていける姿勢と粘り強さ、そういったものが教職をめざす人には必要なのです。

#### 【卒業後の進路】

教員の採用数は増える傾向にあるが、**採用試験は難関**。そのため、**教育産業**やそのほかの**一般企業**に進む人もいる。障害児教育課程の卒業生は、特別支援学校の教員以外に、高齢化や少子化に伴うさまざまな介護の必要性から、**社会福祉施設**に就職する人も目立つ。

### ◆児童学…環境の変化を踏まえて子供の成長を支援する

#### 【学問の内容】

児童学は、**児童の心と体の発達や健康**について、科学的に研究していく学問分野です。生活環境や文化とのかかわりなども含めた児童を取り巻くあらゆる面が研究対象です。

「**児童の心身の発達**」（精神的・身体的に安定した子供に育てる方法の研究）、「**児童の心身の健康**」（児童がかかりやすい病気の予防などの研究）、「**児童の福祉**」（保育園などの環境整備や行政のあり方などについての研究）、「**児童の保育・教育**」（児童にとって適切な生活スタイルや教育のあり方について研究）、「**児童と文化のかかわり**」（児童の遊びや関心事についての研究）などに分けることができます。これらの研究は、**教育学**、**心理学**、**社会福祉学**などとも密接にかかわっており、それらの学問分野の知識も欠かせません。

最近の児童を取り巻く環境は、冷暖房完備の住まいに住み、テレビゲームが遊びの中心となるなどひと昔前とは様変わりし、また1人っ子が多くなった現在の家族構成のなかで親子関係も大家族時代とは明らかに変化してきています。そうした、**児童をめぐる環境の変化をいち早くとらえ、分析・研究を進めていく**のも、児童学の大切な使命といえます。

#### 【卒業後の進路】

在学中に幼稚園教諭免許、保育士資格、小学校教諭免許などの資格を取得し、卒業後は**保育所**、**幼稚園**、**小学校**などに勤務する人が多い。また、児童を対象とした**出版**、**製造**、**サービス関係の企業**に就職するケースもある。